

日本原子力学会標準委員会 リスク専門部会 レベル 3PRA 分科会

第 44 回会合議事録

日時：2025 年 4 月 21 日（金）15:00～16:00

場所：WebEx による Web 会議

出席者：

委員：津崎主査（電中研）、木村幹事（JAEA）、田原幹事（東芝 ESS）、池田（CTC）、岩波（日立 GE）、大家（NEL）、岡村（原燃）、菅野（VIC）、佐々木（電中研）、神野（原電）、廣内（JAEA）、鄭（JAEA）、西（関電）、宮原（MHI）、向原（TEPSYS）、斯波（JANUS）【15 名】

常時参加者：大沼（原電エンジニアリング）、鈴木（NRA）、内藤（電中研）、松下（東芝 ESS）【4 名】

委員候補：木村（電中研）

常時参加者候補：舟山（NRA）

欠席委員：飯本（東大）、高原（JAEA）、横山（藤田医科大）、吉田（東電）

議題：

- (1) 人事について
- (2) 前回議事録確認
- (3) レベル 3PRA 標準改定案の確認
- (4) その他、今後の予定、状況連絡等

配布資料

P8SC44-1 人事について

P8SC44-2 第 43 回 L3PRA 分科会議事録(案)

P8SC44-3-1_標準合本版 v1(01)

P8SC44-3-2_L3 本文新旧比較_1 章_目的_2 章_適用範囲_3 章_引用規格

P8SC44-3-3_L3 本文新旧比較_5 章_レベル 3PRA の実施手順

P8SC44-3-4_L3 本文新旧比較_6 章

P8SC44-3-5_L3 本文新旧比較_7 章_気象データの収集及び気象シーケンスの選定

P8SC44-3-6_L3 本文新旧比較_8 章_大気拡散及び沈着の評価

P8SC44-3-7_L3 本文新旧比較_9 章_サイトデータの収集及び処理

P8SC44-3-8_L3 本文新旧比較_10 章_被ばく線量評価

P8SC44-3-9_L3 本文新旧比較_11 章_防護対策による線量低減解析

P8SC44-3-10_L3 本文新旧比較_12 章_健康影響評価

P8SC44-3-11_L3 本文新旧比較_13 章_経済影響の評価

P8SC44-3-12_L3 本文新旧比較_14 章_リスクの定量化

P8SC44-3-13_L3 本文新旧比較_15 章_感度解析不確かさ解析
P8SC44-3-14_L3 本文新旧比較_16 章_新旧比較
P8SC44-3-15_L3 本文新旧比較_附属書 A_レベル 3PRA の品質確保に関する留意事項
P8SC44-3-16_L3 本文新旧比較_附属書 C
P8SC44-3-17_L3 本文新旧比較_附属書 E&F
P8SC44-3-18_L3 本文新旧比較_附属書 H_被ばく線量評価
P8SC44-3-19_L3 本文新旧比較_附属書 I
P8SC44-3-20_L3 本文新旧比較_附属書 J_健康影響の評価モデル
P8SC44-3-21_L3 本文新旧比較_附属書 K_経済影響評価
P8SC44-3-22_L3 本文新旧比較_附属書 L_リスクの定量化
P8SC44-3-23_L3 本文新旧比較_附属書 M_感度解析不確かさ解析の役割
P8SC44-3-24_L3 本文新旧比較_附属書 N_文書化の項目例
P8SC44-3-25_L3 本文新旧比較_附属書 O
P8SC44-3-26_L3 本文新旧比較_解説 2_レベル 3PRA 手法とその適用
P8SC44-3-27_L3 本文新旧比較_解説 5

参考資料

P8SC44-参考 1 レベル 3PRA 分科会名簿（承認前）
P8SC44-参考 2 レベル 3PRA 分科会名簿（承認後）

議事概要

分科会開始時点において委員 19 名中 15 名が出席しており、本会議が決議に必要な定足数を満たしていることを確認した。

(1) 人事について

・委員について

以下の1名の委員の新任が、反対者なし（全員賛成）によって承認された。

- ・木村 建貴(電力中央研究所)

以下の1名の委員の退任が報告された。

- ・佐々木 道也(電力中央研究所)

・常時参加者について

以下の1名の常時参加者の登録が、反対者なし（全員賛成）によって承認された。

- ・舟山 京子（原子力規制庁）

以下の1名の常時参加者の登録解除が報告された。

- ・和田山 晃大（原子力規制庁）

(2) 前回議事録確認 (P8SC44-2)

第 43 回議事録案について、承認された。

(3) レベル3PRA標準改定案の確認

【全体】

- ・ 本日これまでの修正案について報告が行われ、今後は中間報告に向けた書類等の準備に進んでいく。

【16 章】

- ・ 16 章について分科会での確認が不足しているため、今回田原幹事にて修正した標準案の説明を行った。
- ・ 外部利用に関する記述について、文章化の構成に移す修正を行ったが、特にコメントはなかった。

【新旧比較表】

- ・ 章によって対応が異なり（変更箇所のみ抜き取り、全部貼っている等）、統一がとれていない。津崎主査にて新旧比較表を作り直して、必要に応じてメールや次回分科会にて確認をするプロセスとする。
- ・ 各章の担当者に質問することが発生した場合は、協力をお願いしたい。

【用語の統一】

- ・ 「不確実さ」と「不確かさ」について、第 41 回の議事録にあるとおり、レベル

3PRA 分科会としては、「不確実さ」で統一する。

- ・ 「評価」と「定量化」については、混在しており、津崎主査が作業をする中で必要に応じて各章の担当者に確認をする。
- ・ 「チェルノブイリ」と「チョルノービリ」は、元文献の記載を引用しているもの以外は、「チョルノービリ」に統一する。

【付属書 E】

- ・ 式(E.18)について、 σ_y と σ_z が逆ではないかという指摘があり、元文献を確認する。

(4) その他、今後の予定、状況連絡等

- ・ 中間報告に向けて主査、幹事にて書類作成作業を進め、必要に応じて章ごとの担当者に連絡する。議論を要する場合は、次回分科会にて議論する。
- ・ 次回の分科会は 2025 年 7 月半ば～下旬を目途に、後日日程調整する。

以上